

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

株式会社前田精密製作所 精密小型歯車

開発に挑み続けて120年 時代を捉え IoT化も推進

1901年の創業間もない頃から時計の修理・改造に携わり、やがて神戸の大手企業から小型歯車・部品の製造を受注するように。昭和初期にはオリジナルブランドでポータブル蓄音機を製造していたこともあったそうです。昭和40年代後半からは航空計器用の精密部品を供給し、その後、油圧部品や情報通信関連部品、医療関連などにも取引を広げられました。近年は産業ロボットの減速機、動力伝達機構に使われる精密歯車にも力を入れています。

一品一様の試作品や少量生産品を手掛けることが多く、「お客様の新たな開発に常に積極的に取り組み、それを実現するために新たな勉強をし、機械・工具を導入し、人を育ててきた積み重ねの上に今の事業があります」と前田正社長は言います。

社員の半数以上が30代以下で、多数の現場社員が技能検定で資格を取得。3DのCAD・CAMを使える機械加工

プログラマーをそろえているほか、出来上がった部品の精度を確認する精密測定室を備えていることも強みです。今年1月には歯車加工に使う最先端の4軸制御万能小型ホブ盤を、6月には5軸制御横形マシニングセンタを導入しました。「最新の機械を導入しただけで精度が上がるわけではありません。ベテランの職人が、どの順番で加工し、加工対象物をどう押さえ、どのように刃物を動かすかなどをしっかりと伝承するようにしています」

3年前には5代目を継ぐ前田真常務が他社勤務を経て入社。各工場の生産状況をリアルタイムに把握し、納期順守の向上につなげるIT化に着手しました。今後はIoT化も推し進め、「まずは機械からデータを収集できる体制を構築し、機械の予防保全や生産の効率化につなげていきたい」と意欲を見せています。来年で創業120年を迎える同社は常に時代の変化を捉えながら、進化し続けています。



精密小型歯車・小型部品



工場は神戸市垂水区と姫路市安富町（写真）の2カ所にあります

◎株式会社前田精密製作所の 精密小型歯車

株式会社前田精密製作所／所在地：神戸市中央区楠町2-1-7／代表取締役社長：前田正
事業内容：精密小型歯車・精密機械部品の製造
TEL 078-351-2424／URL <https://maeda-mss.com/>

編集後記

「成長期待企業のイチオシ！」で訪ねた前田精密製作所。3年前に入社した5代目の真さんは情報系学部出身という経歴の持ち主。IT、IoT、AIという最新の情報技術を生かし製造業を進化させていこうとする姿はとも頼もしく思えました。

JUMP

2020年8月号 令和2年8月10日発行
発行人：赤木正明 編集人：政辻孝克

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター
神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階・2階・7階

TEL 078-977-9070(代) URL <https://web.hyogo-iic.ne.jp/>